

第19回 全国キリスト教学校人権教育セミナー

「子どもの声が届いていますか」

2008年8月7日（木）～9日（土）

会 場 : カリタス女子中学高等学校



主催

第19回全国キリスト教学校人権教育セミナー実行委員会

全国キリスト教学校人権教育研究協議会

(ホームページ <http://zenkiri.junyx.net>)

開催の目的

- ①キリスト教学校および公私立学校で人権教育に関心を持っている教職員、また人権教育に関心を寄せるキリスト者・市民・保護者・学生の出会いの場をもつ。
- ②人権教育の実践に学び合い、分かち合い、建設的な関係を築く。
- ③キリスト教学校での人権教育のあり方を探求し、人権教育の広がりを作る。

第19回 全国キリスト教学校人権教育セミナー要項

「子どもの声が届いていますか」

主の御名を賛美いたします。

全国キリスト教学校人権教育研究協議会はキリスト教学校や教会での人権教育を深めるため、夏季の全国セミナー、そして各地域でのセミナーを開催しております。2008年は第19回全国セミナーを神奈川県川崎市のカリタス女子中学高等学校にて開催いたします。

今回のテーマは「子どもの声が届いていますか」です。教育に携わる者として、日々共にいる子どもたちからの声を聴く勇気を与えられ、聴く姿勢を育てていけるよう、セミナーが幾ばくかの働きができるのではないかと期待しています。セミナーで出会う者同士もまた、互いを尊重し励ましあう仲間としてつながりを広げられる機会となるよう願っています。一人一人の存在の重さが、本当の意味で大切に受けとめられていない日本社会では、声をあげたくても、声をあげる勇気がもてない多くの子どもたちがいます。また、困難な状況の中から声をあげても、聞き届けられないでいる多くの方々もおられます。子どもたちや当事者の方々の心の叫びに、まず耳を傾けてみませんか？「子どもたち・若者たちの声、その切実な思いに気づく」ことによって、私たちおとなも背中を押され、新たな一歩を踏み出せるのではないかと期待しています。

多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

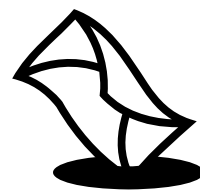
- テーマ 「**子どもの声が届いていますか**」
- 日程 2008年8月7日(木)～9日(土)
- 会場 カリタス女子中学高等学校
HP : <http://www.caritas.ed.jp/>

〒214-0012

神奈川県川崎市多摩区中野島4-6-1

交通：JR 南武線中野島駅から徒歩約1km または
小田急線登戸駅からバス5分カリタス学園行き


- 参加費 《全日程参加》 出張 15,000 円 / 自費 12,000 円 / 学生 10,000 円
(参加費にはセミナー諸費用・食事代・ニューズレター購読費が含まれます)
《部分参加》 1コマ(午前・午後は各1コマ) 2,000 円×コマ数 + ニューズ購読費 3,000 円
※ フィールドワークはオプションです。参加費は別途いただきます。
- 宿泊 各自でご予約ください。5頁の宿泊のご案内を参考になさってください。
- フィールドワーク(オプション)「横須賀軍港めぐり」5,000 円 ※詳しくは7頁のご案内をご覧ください。
- 申込 **7月7日(月)**までに、別紙の申込書2枚を封書またはFaxでお送り下さい。
または、「全国キリスト教学校人権教育研究協議会」のHP <http://zenkiri.junyx.net> から申込書をダウンロードしてメールに添付してください。
- 申込先 【郵送】〒214-0012 神奈川県川崎市多摩区中野島4-6-1 カリタス女子中学高等学校
宛名「第19回人権教育セミナー実行委員会」
【FAX】044-911-9517
【メール】zenkiri2008@yahoo.co.jp
- 送金先 ゆうちょ銀行普通口座 加入者名「第19回人権教育セミナー実行委員会」
記号10260 番号43178711
※**7月22日(火)**までに送金先にご送金ください。申込書の送金方法をお読みください。



※お問い合わせはメールまたはFAXにてお願いいたします。

※参加を申し込まれた方には、7月末日までに受付確認書をお送りします。

2008年度 第19回全国キリスト教学校人権教育セミナー日程

オフショ8月7日(木) フィールドワーク「横須賀軍港めぐり」		場所
11:00～ 17:00	JR新横浜駅出発。バス車中昼食(用意します) チャーター船にて軍港見学、 バスにてカリタス女子中学高等学校到着	
1日目 8月7日(木)		
17:00～	セミナー参加者受付開始 夕食(お弁当とお茶を用意します)	中央玄関 カフェテリア
18:30～19:30	開会礼拝(幸田和生さん)	聖堂
19:30～20:00	基調報告(第19回セミナー実行委員長)	聖堂
20:00～20:20	オリエンテーション	聖堂
2日目 8月8日(金)		
9:00～9:50	聖書研究(渡辺英俊さん)	小講堂
10:00～11:45	全体会1:若者たちの発言「わたしの思い、今ことばにできること」 昼食(お弁当とお茶を用意します)	小講堂 体育館会議室
13:00～15:30	分科会 ① 人権教育とキリスト教 ② 参加型人権教育 ③ 特別支援教育をめぐって ④ セクシュアリティを考える～あなたの性はなに色ですか～ ⑤ 部落解放運動の第2ステージ ⑥ 外国籍・ダブルの子どもたち ⑦ 平和教育 ⑧ 乳幼児からの人権教育～多文化共生社会における「共育」の実践から～	社会科ゾーン 
16:00～17:30	人権教育フリーマーケット ① 外国人登録法のビデオ上映 ② 部落差別問題のビデオ上映 ③ 『差別体験授業』(先着順30名限定)	
18:00～20:00	交流会	カフェテリア
3日目 8月9日(土)		
9:00～9:30	朝の祈り(河野 淳さん)	聖堂
9:40～11:15	全体会2「これからどうする?!」	小講堂
11:30～12:15	派遣礼拝(関田寛雄さん)	
12:20～13:00	昼食(お弁当とお茶を用意します)	カフェテリア
13:20～14:30	(セミナー終了後 「全キリ」協議会会員総会)	小講堂

- 主催 全国キリスト教学校人権教育研究協議会/第19回全国キリスト教学校人権教育セミナー実行委員会
- 後援 カトリック中央協議会学校教育委員会/キリスト教学校教育同盟/キリスト教保育連盟/全国在日外国人教育研究協議会/日本カトリック学校連合会/日本キリスト教協議会教育部
- 賛同 外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議会/日本カトリック正義と平和協議会/日本カトリック部落問題委員会/在日韓国人問題研究所/在日大韓基督教会/日本キリスト教協議会在日外国人の人権委員会/日本キリスト教協議会部落差別問題委員会/日本基督教団在日韓国・朝鮮人連帯特設委員会/日本キリスト教団部落解放センター/日本キリスト教婦人矯風会平和部/日本聖公会正義と平和委員会/日本バプテスト同盟/日本バプテスト連盟在日・日韓連帯特別委員会/日本バプテスト連盟部落問題特別委員会/日本YWCA/部落問題に取り組むキリスト教連絡会

≪プログラムの内容と担当者の紹介≫

～祈り～

【開会礼拝 (8/7)】 幸田和生さん
(こうだ かずお、カトリック東京大司教区補佐司教)

【聖書研究 (8/8)】 渡辺英俊さん、聖書「マルコによる福音書 2章23-28節」、主題「イエスの人権宣言」
(わたなべ ひでとし、日本キリスト教団なか伝道所牧師/移住労働者と連帯する全国ネットワーク)

【朝の祈り (8/9)】 河野 淳さん (この あつし、カトリック横浜教区司祭、正義と平和協議会、部落問題委員会)

【派遣礼拝 (8/9)】 関田寛雄さん
(せきた ひろお、日本キリスト教団神奈川教区巡回教師、全国キリスト教学校人権教育研究協議会会長)

～全体会～

【全体会1 (8/8)】
「わたしの思い、今ことばにできること」(若者たちの発言)
大人になると、いろいろなことが分からなくなります。それなのに、親だというだけで、教師だというだけで、なんだか分かった気になっている……。そんなことはありませんか。この時間は、大人は口を閉じて、子ども時代にもっとも近い若者たちの言葉に耳を傾けてみませんか？ 5人の若者が、今だから言葉にできることを語ってくださいます。

【全体会2 (8/9)】
「これからどうする?!」参加者代表の思いを聞き合い、これからの自分の歩みを考えます。

～分科会(8/8)～

①「人権教育とキリスト教」

人権教育に関心を持ち、取り組みたいと考えている教員を対象に設定します。テーマは、キリスト教学校における人権教育の意義、宗教科、聖書科の役割などです。発題者から、指紋押捺拒否の経験などをお話いただき、人権教育をキリスト教学校でどのように推進するのか、参加者と話し合います。

(発題者より) 人権教育に関して大事なテーマは、日本内にある具体的な差別観(被差別部落、在日韓国・朝鮮人、アイヌ民族)とその歴史(始まり)、根拠、結果など、人権の歴史、そして特に人権が何のために、どうしてあるのか、なければならぬのかなどだと思います。キリスト者にとって最も中心的使命は、自分ひとりの救いではなく、「神のくに」の建設である。そして「神のくに」とは、一人ひとりの人間の尊厳が尊重され、一人ひとりの人間(特に最もその尊厳が脅かされ、奪われている人)がより人間らしい生き方ができるというものである。これは、明らかに福音書に現れ、すべての人々に伝えられる福音(喜びの訪れ)であるはずだ。

④セクシュアリティを考える

～あなたの性はなに色ですか～

「私は私のままでいいんだ。」これは多くの仲間に出会ったあるセミナー参加者の言葉です。同性を愛する人、自分の性別に違和感がある人、「女/男」という枠にはめられない人…。一言では説明できない様々な人達を大切にするために、また私達に与えられた性を自分らしく生きるために、セクシュアリティ、性の在り方について少しだけ丁寧に考えてみませんか？(発題者より)

8つの分科会があります。
参加を希望される分科会を
第3希望までお選びください。

②参加型人権教育

本分科会はワークショップ形式で参加者の経験や意見を尊重しながら、自分の心と体を大切に、異なる他者との共生を実現する力を育むことをめざす学び場です。人権教育の実践経験や知識のある人・ない人に関係なく、参加者同士が対等な関係を作りながら、それぞれのちがいを(個性)を豊かさにしてできるエンパワメントの機会を一緒に創って行きましょう。新しい「出会いとつながりの場」として、皆さんとの学びの協働を楽しみにしています。(発題者より)

③特別支援教育をめぐって-発達上の課題をかかえる子どもの支援について考える

07年度4月より「特別支援教育」が本格実施となりました。たくさんの方の矛盾や課題をかかえながらも、特に公立の小・中学校を中心に、「発達上の課題をかかえている子ども」への支援が急速に進められています。いわゆる「発達障害」への関心が高まり、広く認識されるようになったのはいいことだと思いますが、「ことばのひとり歩き」に対する危惧をいただくこともあります。また教育現場では、「発達上の課題をかかえているのでは？」と心配されながら、的確な支援が行われていない現状もあります。そこで、この分科会では、「発達障害とは何か」を改めて整理し、「発達上の課題をかかえている子ども」への支援について学びたいと考えています。(発題者より)

⑤部落解放運動の第2ステージ「ぼちぼち」の取り組み

部落解放運動が様々な壁に突き当たっているといわれる中で、神奈川の厚木で13年にわたってユニークな試みがなされています。この「ぼちぼち」の歩みを担当者は「部落解放運動の第2ステージ」と言っています。分科会では、部落解放運動の現状と課題をともに考えたいと思います。

「ぼちぼち」は1995年に部落の子どもたちの勉強会から始まり、単なる勉強会から、それぞれの家庭に困難を抱えた子どもたちの総合的な相談室になっていき、参加者も、被差別部落出身者だけでなく、不登校経験者、精神医療ユーザー、ベトナム人、ブラジル移民、など様々な人が集まる場所になっていき、現在は、定食屋を兼ねた部屋を持つに至りました。

⑥外国籍・ダブルの子どもたち

いま日本に住む外国人は、208万人以上。その子どもたち――すでに四世・五世となる在日コリアンの子どもをはじめ、韓国、中国、ブラジル、ペルー、フィリピンなどニューカマーの子どもが急増しています。また、日本人と外国人との国際結婚も増え、日本国籍あるいは二重国籍のダブルの子どもも多くなっています。横浜市南区の信愛塾で、外国籍・ダブルの子どもたちの学習支援に長年取り組んでいる竹川真理子さんから、まず話を聞きます。そして各学校現場からの報告をまじえて、外国にルーツを持つ子どもたちのアイデンティティ保障、多民族・多文化共生教育の課題などについて考えます。

⑦平和教育

発題者は高嶋伸欣さん（琉球大学教授）が起こした教科書裁判の事務局長を長く勤められた方です。2007年4月から1年間教員を退職し、琉球大学大学院研究生として沖縄で暮らし、その間、沖縄平和ネットワーク会員として平和ガイドをされました。3月に判決が出た大江・岩波沖縄戦裁判や「集団自決」検定問題にも、沖縄と首都圏の2つの視点で関わりを持たれました。沖縄での生活の中から、若い世代の平和教育について共に考えたいと思います。

⑧乳幼児からの人権教育

～多文化共生社会における「共育」の実践から～

格差社会が深刻化する中、能力至上主義の意識が社会全体を覆っています。それはいわば強さ指向の社会であり、私たちの弱さや「痛み」を排除する社会です。私の「痛み」は、他者の「痛み」に共感するための想像力の基礎であると考えるとき、このような時代に、最も感受性が強く、人権感覚の根を育む乳幼児たちに私たちはどのように向き合い、パートナーシップを築くことが出来るのでしょうか。今回は、様々な個性、民族・文化的背景をもつ人々が共に暮らす町、川崎南部の桜本保育園における乳幼児教育の実践を、「痛み」の共感と多文化共生教育という切り口から共に学んでみたいと思います。

～人権教育フリーマーケット（8/8）～

人権教育を、学校教育の中でどのようにやっていけばいいのかわからないのか、そのイメージ、インスピレーションを与えてくれるかもしれません。さまざまなテーマ、題材を盛り込みました。どのコーナーに参加するのも自由、③を除いて途中参加もOKです。

①映像に見る外国人・民族的マイノリティの子どもたち

2007年11月、全国の外国人学校が集まって「多民族共生教育フォーラム東京・2007」が開かれ、その中で、朝鮮学校・韓国学校・ブラジル学校・インターナショナルスクールに通う子どもたちが証言しました。ビデオ「東京フォーラム・2007」ほか上映。

②部落差別問題のビデオ上映

被差別部落の文化、同和教育実践、被差別部落の若者の思いなどをテーマとした3本のビデオを上映します。また、ビデオや人権にかかわるパンフレットも用意しました。上映ビデオ「あすにつくもの～竹細工に生きる」（40分）、「峠を越えて」（25分）、「いま、部落を語る若者たち」（27分）。

③「差別体験授業」（先着順30名限定）

学校教育は、性差別／ジェンダーの再生産装置としての側面を持っています。教師の無意識・無意図的言動が、子どもの差別意識形成の一要因となるのです。「差別体験授業」では、参加者が児童に戻って、教室での教師の言動を追体験／疑似体験します。

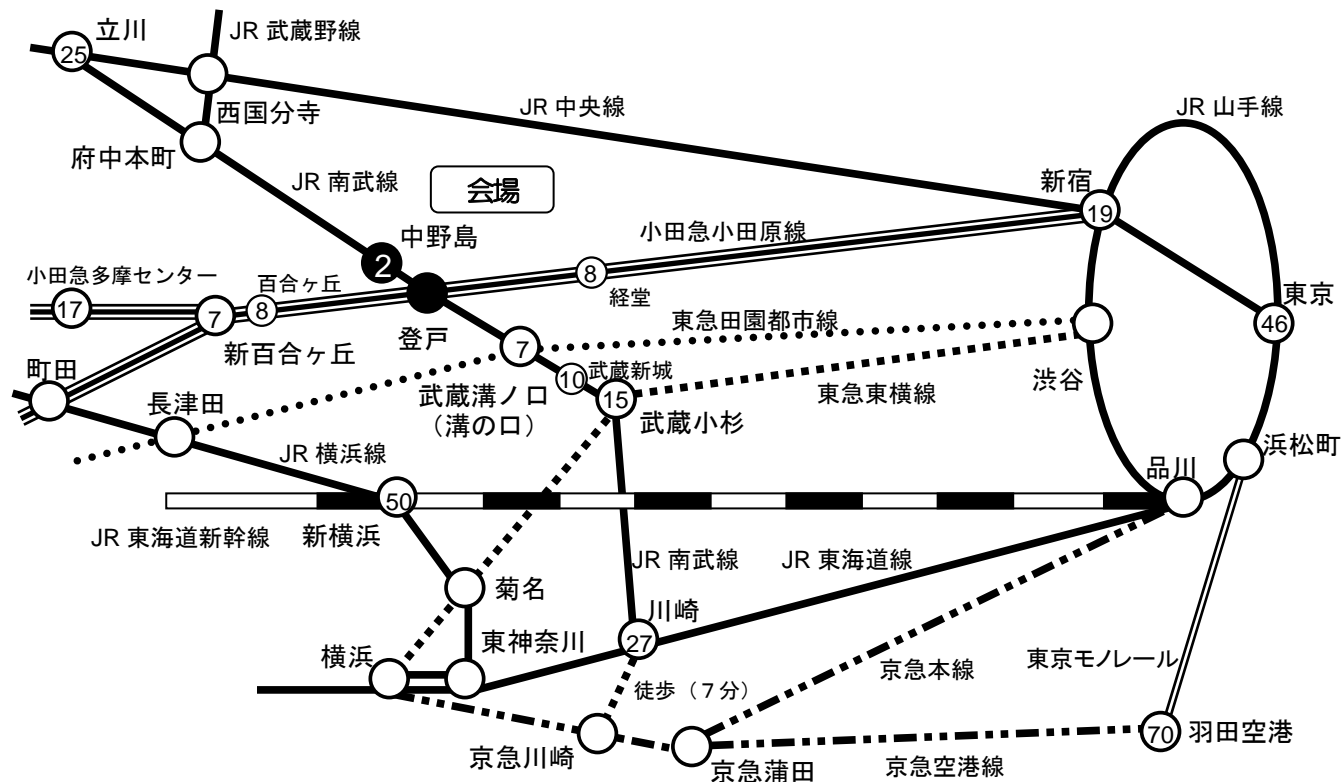
交通と宿泊のご案内 (各自でご予約ください。)

JR 南武線中野島駅からの方が便利です!

●カリタス女子中学高等学校の最寄駅

- ① JR南武線中野島駅下車 (約1km、タクシーなし) 駅から会場までの地図は6頁にあります。
- ② 小田急線・JR南武線登戸駅下車、バス利用 (乗車5分、カリタス学園下車約100m、運賃片道210円) または登戸駅からタクシー約980円 バス停およびタクシー乗り場の地図は6頁にあります。

●カリタス学園最寄駅と宿泊先候補駅、新幹線・空港最寄駅との各駅関係図



《交通と宿泊がセットになったパックで申し込まれると割安になります。》

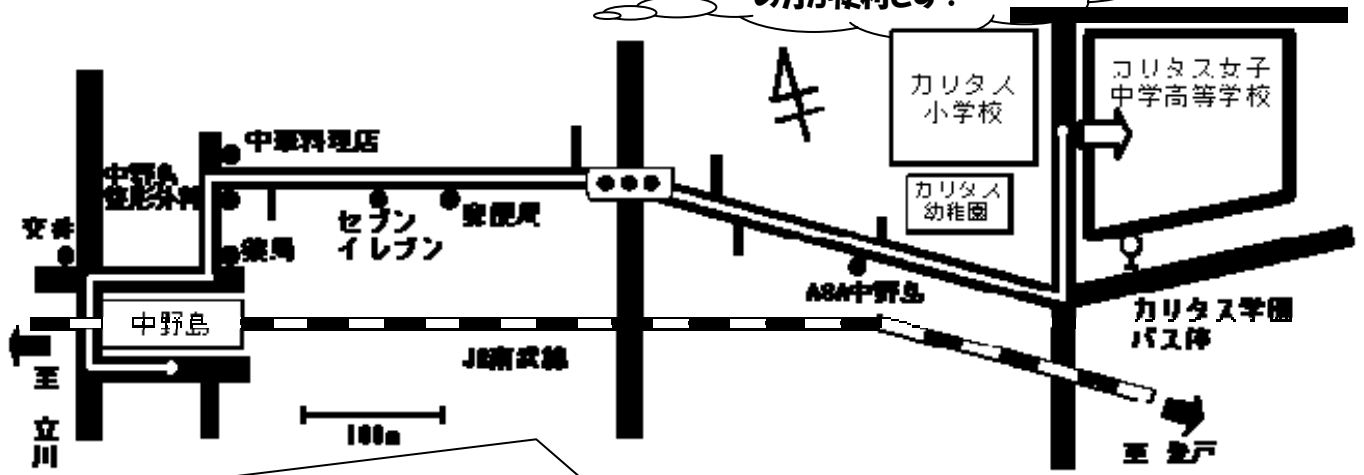
- エースJTB「出張名人」 URL : <http://www.jtb.co.jp/acejtbw/business/> *空路も陸路も選択可。
- 「楽天トラベル」の「ANA楽プラン」*空路のみ。

●会場付近のおすすめホテル (登戸駅に近い順に紹介します。すべて駅から約400m以内です。)

J R南武線利用	小田急線利用
<ul style="list-style-type: none"> ・福田屋旅館 (登戸駅) ・ホテルメッツ溝の口 (武蔵溝の口駅) ・川崎第一ホテル溝の口 (武蔵溝の口駅) ・川崎第一ホテル武蔵新城 (武蔵新城駅) パック有 ・立川グランドホテル (立川駅北口) パック有 ・立川ワシントンホテル (立川駅北口) パック有 ・パレスホテル立川 (立川駅北口) パック有 	<ul style="list-style-type: none"> ・福田屋旅館 (登戸駅) ・ビジネスホテル経堂 (経堂駅) ・ホテルモリノ (新百合ヶ丘駅) ・ビジネス百合丘ホテル (百合ヶ丘駅) ・スターホテル東京 (新宿駅西口) パック有 ・サンルートプラザ新宿 (新宿駅南口) パック有 ・京王プラザホテル多摩 小田急多摩線多摩センター駅) パック有

中野島駅・登戸駅周辺地図とバス時刻表

JR 南武線中野島駅からの方が便利です！



★中野島駅から会場までの道案内★

中野島駅改札を出てすぐ右側の踏切を渡り、すぐ右手にある不動産屋の角を右に曲がり、材木屋の前を通り、薬局と自転車置き場の間の細い道には入らず、薬局の正面を右に見ながら、中野島整形外科の角を右に曲がります。右側にあるセブンイレブン、郵便局そして、しばらく歩いて新聞配達所を過ぎ、左手にレンタルBOXが見えてきたら、その角（自販機があります）を左に曲がります。右手がカリタス女子中学高等学校です。左手はカリタス幼稚園および小学校です。カリタス学園バス停まで行ったら行きすぎです。

駅から学校までは約1kmです。

★登戸駅から

バスで来られる場合★

バスの本数が少ないので時刻表でご確認ください。登戸駅からカリタス学園行きのバス停までは、300m程です。小田急線・JR線どちらをご利用の方も、JR 登戸駅多摩川口の向かって左側の階段を下りて直進してください。歩道が一部狭くなりますが、そのままずっと直進してください。サークルKまで行ったら行きすぎです。

●バス乗車時間 5 分、終点のカリタス学園で下車、バスは自動販売機の前で停まります。自動販売機を左にして、すぐ斜め右前方がカリタス女子中学高等学校、左手前方がカリタス幼稚園および小学校です。

登戸駅入口→カリタス学園		
	平日	土曜
8	05,15,25,45	00,20
9	00,24	00,24
10	00	05
11	00,24	05,26
12	00,26,45	00,24
13	00,24	00,20
14	00,24	00,20
15	00,24,50,58	00,20
16	07,24,48	00,20
17	00,11,21,30,49	00,20
18	05,25,45	00,20
19	00,20	00,20
20	00,20	00,20
21	00,15,30	00,20,40
22	07 (最終)	06 (最終)

カリタス学園→登戸駅入口		
	平日	土曜
8	05,15,25,35,55	10,30
9	10,32	10,32
10	10	15
11	10,32	12,32
12	10,36,55	10,32
13	10,32	10,30
14	10,32	10,30
15	10,32,57	10,30
16	06,15,32,57	10,30
17	10,22,32,40,57	10,30
18	15,35,55	10,30
19	10,30	10,30
20	10,30	10,30
21	8,23,38,58	10,30,50
22	15 (最終)	15 (最終)

！注意！

①行先が「カリタス学園行き」

のバスにご乗車ください。

同じバス停に

「中野島多摩川住宅行き」

もあります。

②JR 南武線多摩川口の

階段をおりてすぐの

所にあるバス停

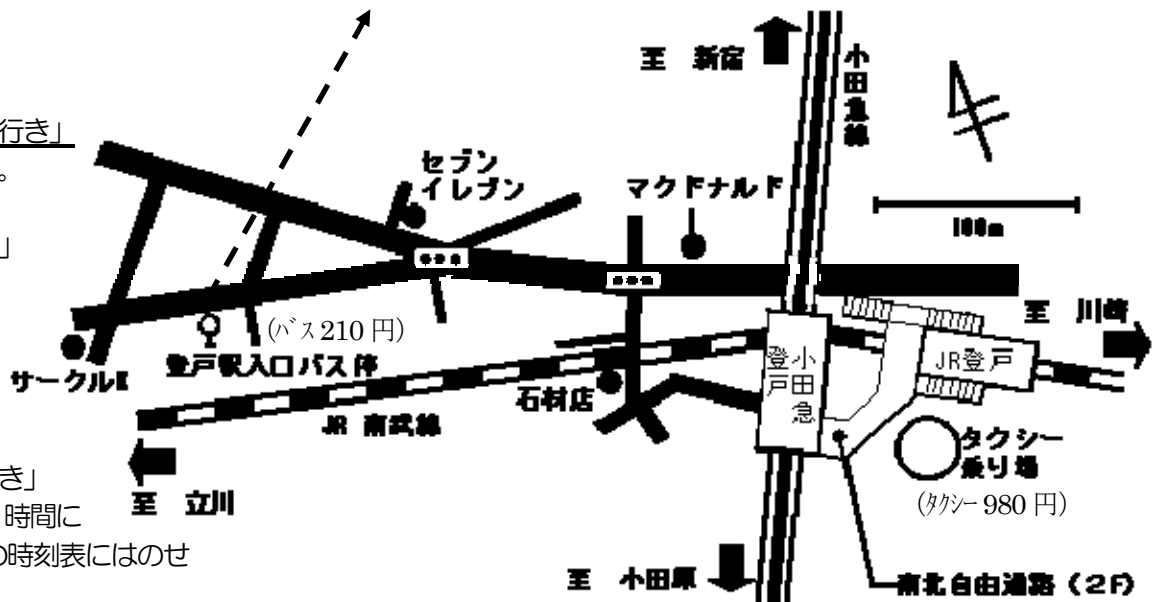
「登戸駅多摩川口」

からも「カリタス学園行き」

がありますが、本数は1時間に

1本弱です。この要項の時刻表にはのせ

ていません。



フィールドワーク

オプションです。

横須賀軍港めぐり

8月7日(木) 午前10時45分

JR新横浜駅 (プリンスペペ) 周辺集合

(集合場所地図と当日の連絡先等、詳細は後日、受付確認ハガキにてお知らせします。11時には出発します。バスで直接セミナー会場に戻ります。駅のコインロッカーなどに荷物を預けずバスに全ての荷物を積み込んでください。)

参加費 5000 円 (学生 4000 円)

(貸切バス・貸し切り船チャーター代、ガイド代、昼食代)

定員 50 名 (先着順)



車中で昼食をとりながら、空母のビデオを見た後、横須賀三笠公園経由、バス車中で横須賀平和船団団長の鈴木茂樹さんの解説を伺った後、チャーター船で軍港横須賀港めぐりをします。バスに戻り、港を見下ろせる高台まで行きます。30分ほど見学した後、バス車中から長浦市宮埠頭から自衛艦隊本部を遠目に見学し、セミナー会場のカリタス女子中学高等学校に17時頃到着予定です。

日本初！米原子力空母母港か！？

2008年8月19日
原子力空母ジョージ・ワシントンの配備により、日本で初めて米原子力空母の母港となることで揺れています。その直前のフィールドワークとなります。海の上と陸の両方から米海軍基地・海上自衛隊基地の現実の姿を見学し、軍都横須賀の問題を学ぶ機会にしたいと考えています。



(<http://www.sarusima.com/naval-port/naval-port.html> より引用)